





太刀 銘吉房



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	たち めいよしふさ
所在地	岡山市北区丸の内 林原美術館
指定年月日	昭和30年6月22日
解説	刃長71.2cm、反り2.7cm、鎬(しのぎ)造、庵棟。刃文は丁字乱れ。鎌倉中期の福岡一文字派の代表作である。名工吉房の作。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩25分／バス「県庁前」下車徒歩3分／路面電車「県庁通」下車徒歩7分
公開状況	林原美術館所蔵
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 駐車場  </div> <div style="text-align: center;"> トイレ  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> 障害者用駐車場  </div> <div style="text-align: center;"> 障害者用トイレ  </div> </div>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀 銘吉房
よみかた	たち めいよしふさ
しよざいち (所在地)	岡山市北区丸の内 林原美術館
していたひ (指定した日)	昭和30年6月22日
せつめい	日本刀(にほんとう)は、武器(ぶき)であるとともに、すぐれた美術品(びじゅつひん)として認(みと)められています。古くから刀工(とうこう)によって日本独自(どくじ)の作り方が受(う)けつがれています。銘(めい)には作者の名前などが刻(きざ)まれており、この刀は、鎌倉時代(かまくらじだい)の吉房(よしふさ)という刀工が作ったものです。太刀とは刃の長さがおよそ60センチメートル以上の刀のことをいいます。